

【 議員と話そう -Ⅶ】 報 告 書

開催日 2025 年 1 月 25 日（土）9:30～11:30 於：ふらっと

参加者 9 名（議員 3 名、市民団体 5 団体 6 名、）

市議会議員 3 名（敬称略、あいうえお順）	市民団体（5 団体+2 名+議員所属複数団体）	
安間 亨	遠江断酒会	NPO 法人健康文化クラブ
竹野 昇	NPO 法人国際教育文化協会	鈴木 芳郎
竹村 眞弓	新日本婦人の会	高橋 嘉紀
	再エネを進める会	浜岡原発を考える会・花車の会 他

《開催趣旨》

地域課題の解決に向けて協働できることを模索する

課 題①

「公共施設」「公共プロジェクト」は計画、企画の段階から市民の意見を広く反映している？

- ・多くの市民に認知されない事業が無いようにするには★❁◆の役割をしっかりと果たして行かなくてはならない。
- ・◆と★の連携を深める事で市民の意見の反映につながり、事業の効率化かつ活性化を図ることができる。
- ・❁は地域に関わりなく市民の声を聴き市全体の事を考えて市政に反映する。
- ・★❁◆の連携で市全域に広く公益性の高いまちづくりを目指す。

課 題②

不登校、ひきこもり、8060 の課題は表面化しない。本当に困っている人は孤独で取り残される。

- ・民生委員や自治会にも把握できない場合がある。★❁が気付いて◆に繋ぐことで多少の改善策は見出せる。
- ・❁はフリースクール設置等の施策実現に向けて政策活動をする。掛川、磐田には存在する。
- ・●は★❁◆その他市内外の団体個人に働きかけ、多様なコーディネートをして本当に困っている人に寄り添う

【それぞれの役割】

★市民活動 専門分野で地域課題解決に取り組む

❁市議会議員 市民の声を聴いて市政に活かす。より良いまちづくり

◆行政（市職員）市民の為に職務を遂行

●ふらっと ★❁◆のコーディネート

★支援

課 題③

「農業」担い手不足「耕作放棄地」

「エネルギー問題」「食糧問題」に、市はどのくらい積極的に取り組んでいるの？

- ・◆と★の連携を深める事が重要。★の存在をしっかりとアピールし多くの市民を巻き込みたい。繋がる事でパワーが何倍にもなる
- ・★と❁の連携も活用し市民にとって切実な課題であることを発信し、私達一人ひとりができることを伝える啓発活動と実践が必要。

課 題④

国際交流・SNS 普及

- ・外国へ行って話しかけられると交流の喜びを感じる。日本に来る外国人に積極的に話しかけることも国際交流の第 1 歩。
- ・在日外国人は地域、職場、学校で困難を感じている。★❁◆がそれぞれの立場からコミュニケーションをとって一つ一つの課題に取り組んでいる。
- ・子供も大人もスマホばかり見ていて家族でも会話が少ない。人間関係は日本人同士も危ういのではないかな？

参加者の活動紹介を皮切りに、「それぞれの役割」と4つのテーマについて意見交換をしました。「つながり」の必要性が共有できました。この会を通じて「つながりが」生まれ広がることを願います。

上記の通り報告します。2024 年 1 月 25 日ふらっと事務局